

経営比較分析表（令和2年度決算）

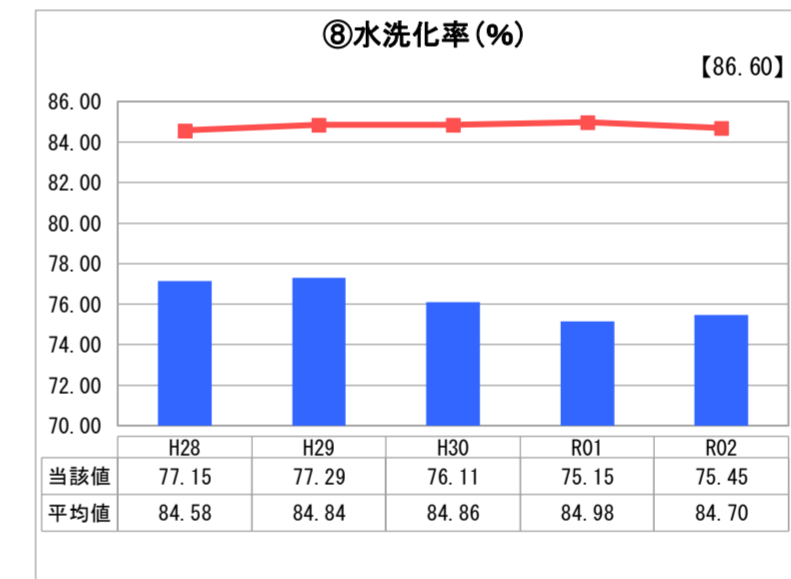
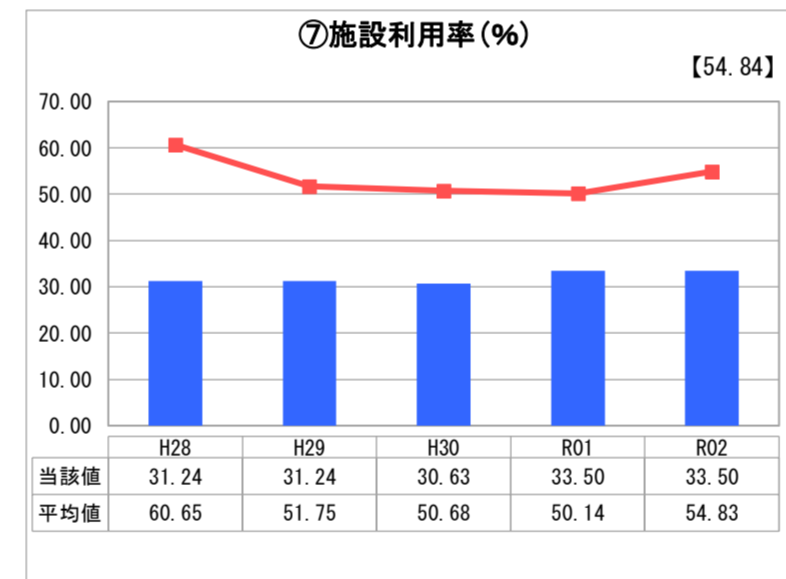
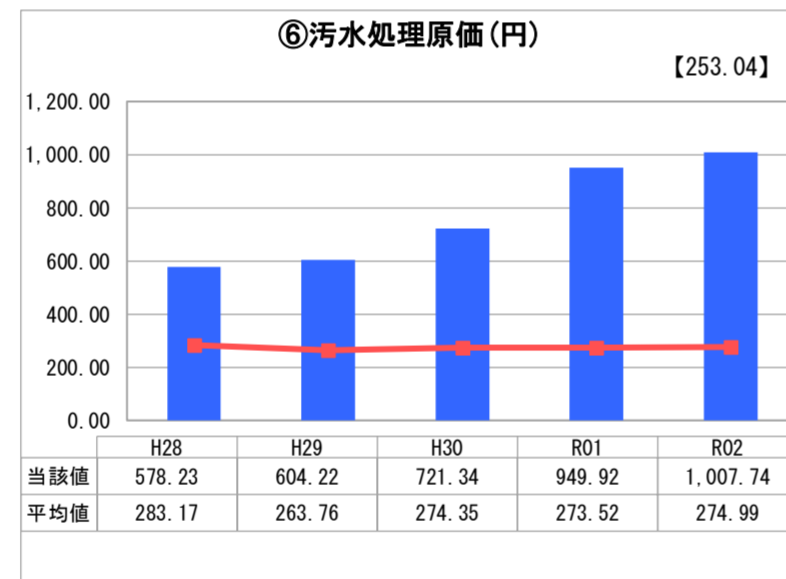
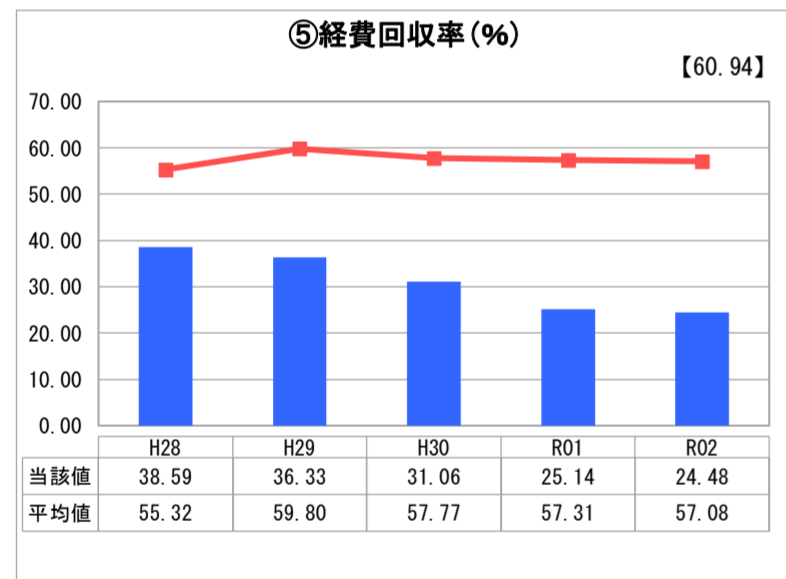
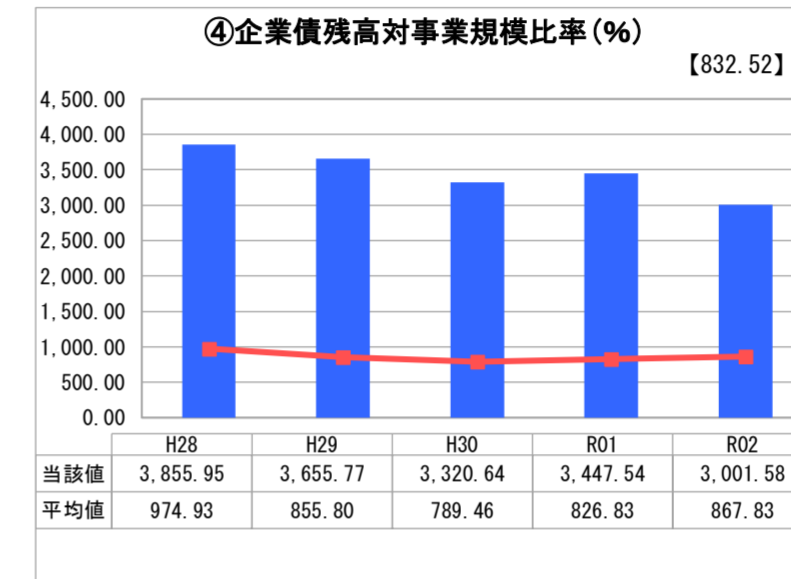
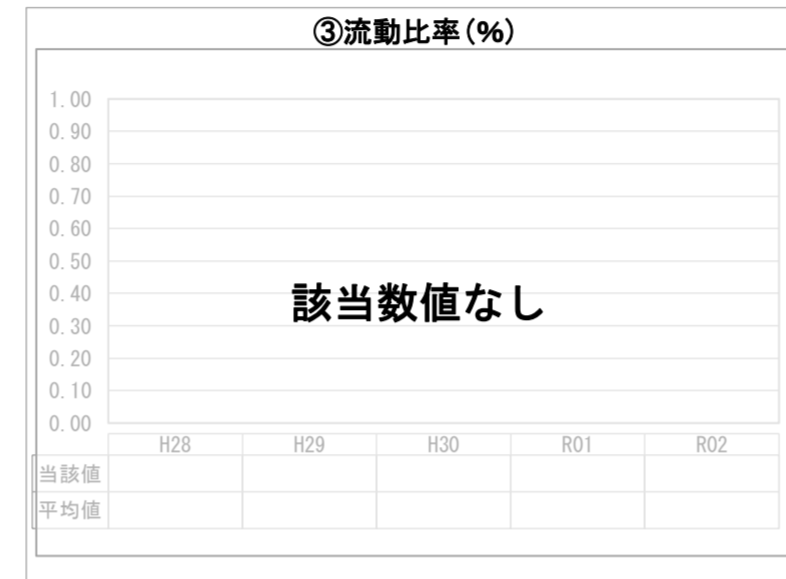
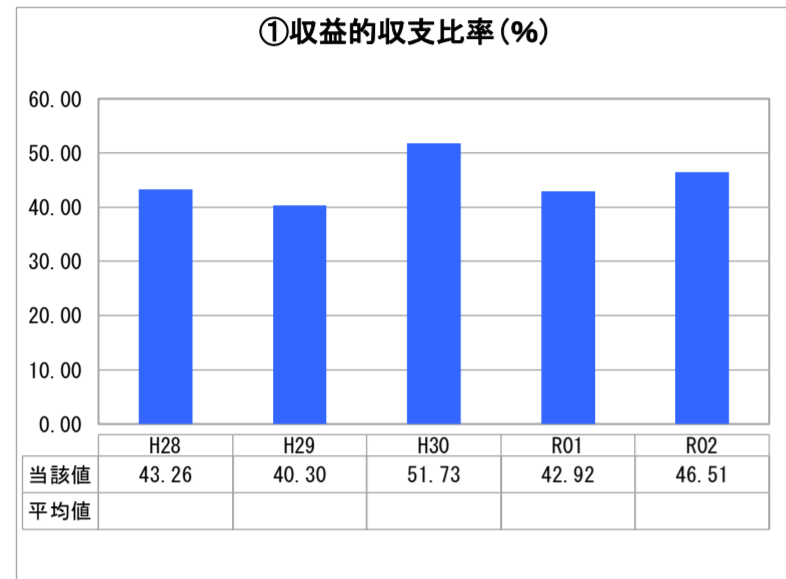
長野県 佐久穂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.74	97.82	4,422

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,756	188.15	57.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
827	0.34	2,432.35

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

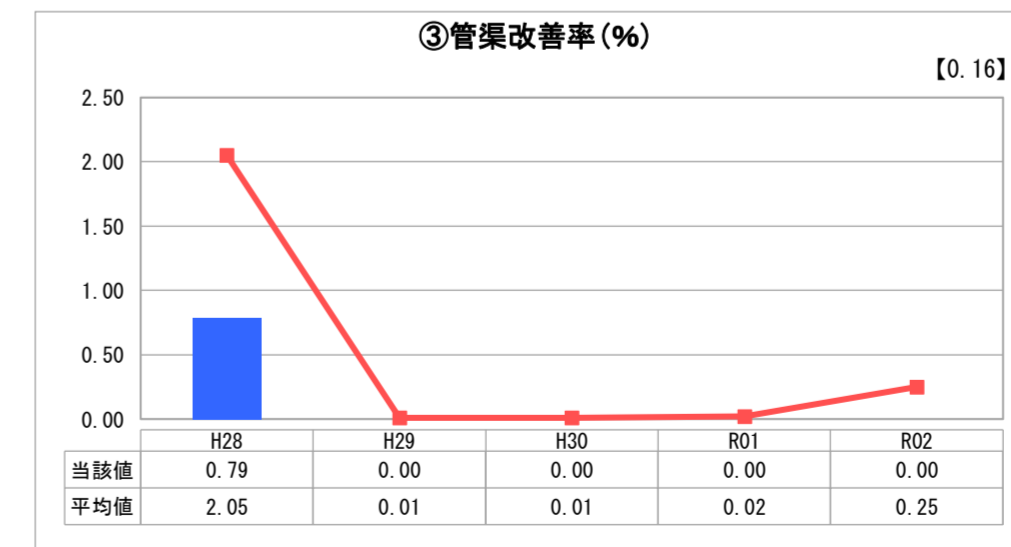
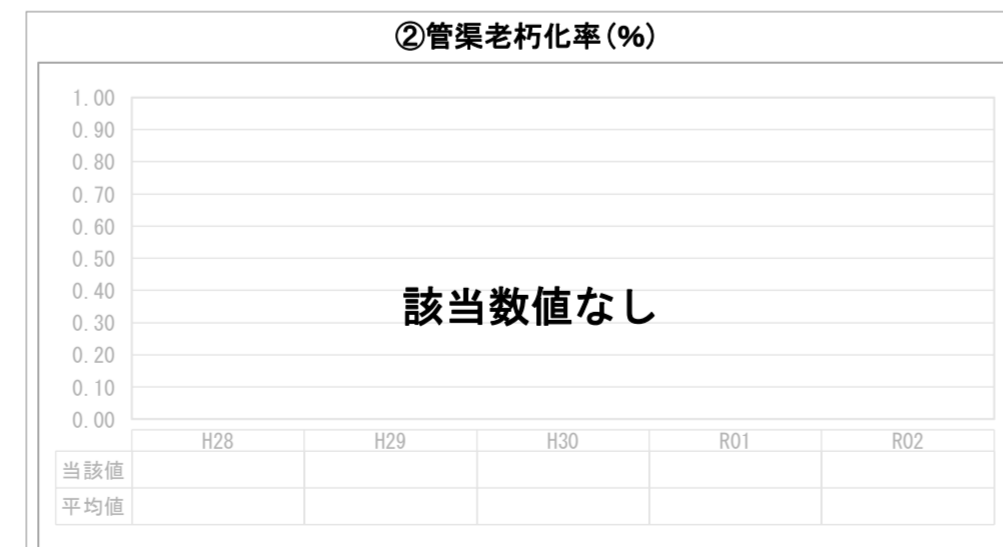
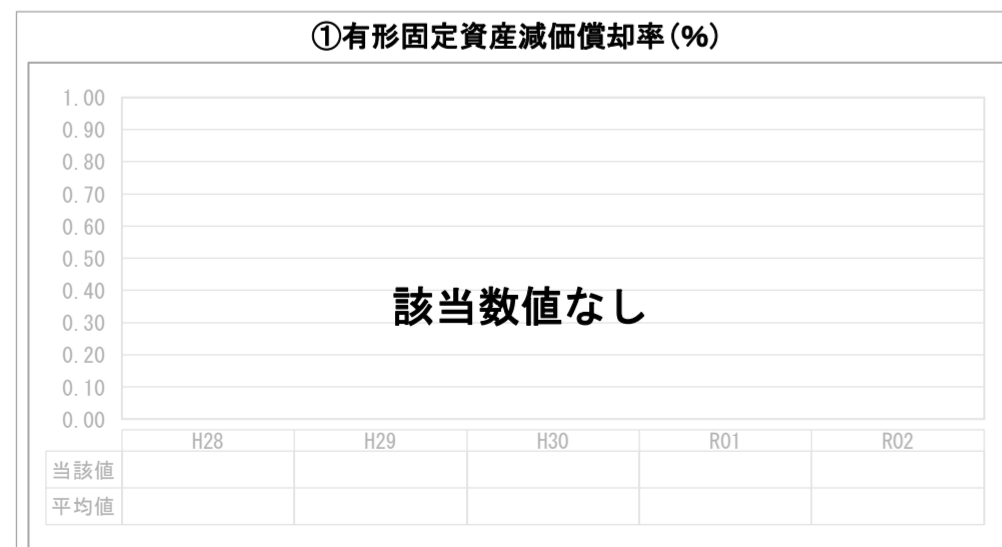
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率は、人口減少により使用料収入も減少している。また施設の老朽化が進み、維持管理費が増加している。
- ④企業債残高対事業規模比率については、地方債残高は計画償還により年々減少しているが、営業収益の減少に伴う影響がみられる。
- ⑤経費回収率の減少については、処理施設の規模に対し、十分な処理人口を得られないため、年々減少している。
- ⑥汚水処理原価は、年間有収水量が減少しているため、増加している。効率的な汚水処理や維持管理費の削減等を検討する。
- ⑦施設利用率については、人口の減少のみみられるが1日平均処理量に大きな変動が見られず、低い水準で一定している。今後は、統廃合・ダウンサイジング等検討する必要がある。
- ⑧管路延長は終了しているため、今後は区域外の合併処理浄化槽の設置を進める。

2. 老朽化の状況について

- ③資産管理等を考慮した更新計画を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和4年4月に、一つの農業集落排水が公共下水道接続となる。もう一つの農業集落排水については経費の観点から、公共下水道に接続することが困難なため、処理施設の規模縮小または個別処理（合併処理浄化槽）を検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。